

一般財団法人富山県教職員厚生会

1

セミナーの概要

セミナーは健康で豊かなゆとりのある生涯生活をめざして、現職中から退職後終身にわたる人生設計の一助とするための事業として、平成元年度より始めました。

富山県教育委員会との共催で、3種類の年代別セミナーを実施しており、若年層から退職間際の人まで、幅広い年代を網羅した事業となっています。

2

令和元年度の実施内容

(1) ライフプランセミナー

開催日 / 令和元年8月5日(月)
令和元年8月7日(水)

会場 / パレプラン高志会館

対象年齢 / 満40歳以下

参加人数 / 計6人

実施内容 /

①家庭経済設計

- ・将来発生する支出（結婚、教育資金等）や自助努力（個人年金等）に関する基礎知識の解説
- ・収支予測シートの作成

②健康管理

- ・体成分測定や運動指導

(2) セカンドライフを考える集い

開催日 / 令和元年8月5日(月)
令和元年8月7日(水)

会場 / パレプラン高志会館

対象年齢 / 満41歳～50歳

参加人数 / 計22人

実施内容 /

①家庭経済設計

- ・将来発生する支出や自助努力に関する基礎知識の解説
- ・収支予測シートの作成

②ワーク・ライフプランニング

- ・過去の振り返りやこれからの生きがいシートの作成

③選択講義

- ・資産管理と健康管理のうち、いずれかを選んで受講

(3) 豊かな人生を拓く集い

開催日 / 令和元年7月29日(月)
令和元年8月6日(火)
令和元年8月8日(木)

会場 / パレプラン高志会館

対象年齢 / 満51歳～60歳

参加人数 / 計264人

実施内容 /

①生涯生活設計

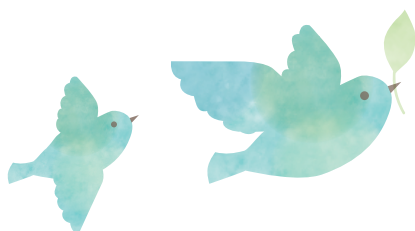
- ・退職後をイメージし、充実した人生の計画を立てる

②家庭経済設計

- ・年金や退職手当、自助努力に関する基礎知識
- ・定年後の税金や社会保険、就労について
- ・退職後10年間の収支作成

③選択講義

- ・資産管理、健康管理、生きがいの三つの講義のうち、いずれか一つを選んで受講



一般財団法人富山県教職員厚生会では、
富山県教育委員会や公立学校共済組合富山支部とともに、
教職員の生涯生活設計を支援すべく、集合型のセミナーを実施しています。



3

工夫している点

各セミナーはそれぞれの世代に対応すべく内容を工夫し、また、収支予測シートの作成などの実技も取り入れています。例年参加者が伸び悩んでいる40歳以下向けのセミナーについては、参加のハードルを下げるために半日開催としました。

選択講義は例年人気のある資産管理の講義を継続しているほか、地元の有名企業に講演を依頼するなどの新しい試みも行い、参加者の増加を図っています。

参加会場については、公共交通機関を利用しやすく、また、十分な駐車場を確保できることを念頭に置いて選定しています。こうした点での参加者への配慮も、参加者の増加に寄与するものと考えています。

4

アンケート調査から見える参加者の反応

参加者を対象に行った事業評価アンケートでは、9割近くの参加者が、セミナーの内容が参考になったと回答しており、おおむね高い評価をいただいているようでした。また、特に50代の参加者から、できるだけ若いうちから参加すべきだったという声も多く出ています。一方で日程に関しては、1日にわたる開催では長過ぎるので半日開催でもよいかもしれないという意見も散見されました。今後のセミナーで取り上げてほしいテーマについては、公的年金・退職金・資産運用の三つについて、とりわけ多くの要望をいただいています。



5

今後の課題

先述の事業の実施内容からも読み取れるとおり、若年層の参加人数が非常に少なくなっています。職務の多忙化等の教職員を取り巻く環境の変化を踏まえつつ、参加者が増えるような開催のあり方や周知の方法を検討することが必要となっています。

また、令和2年度は新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を踏まえ、セミナーの開催を中止し、代替措置として希望者への生涯生活設計に関するテキストの送付を行いました。セミナーの開催ができなかったことは残念でしたが、一方で、資料送付の申込件数が570件に上り、そのうち40歳以下の申込者数は54人となりました。

今後も新型コロナウイルス感染の状況いかにによって、これまでどおりの集合型セミナーの開催が難しくなる可能性があります。その中で行った資料の送付に対し、これまでにない申し込みが集まったことは今後のセミナーのあり方の議論に一石を投じるものになったのではないかと考えています。感染拡大を防止しつつ多くの参加者を集め、教職員の生涯生活設計を支援できるようこれからも力を尽くしていきたいと思います。

(一般財団法人富山県教職員厚生会 総務課 事業係 山口純哉)



選択講義「健康管理」講義